

令和元年度 厚生労働省
障害者芸術文化活動普及支援事業
東海・北陸ブロック実践報告会

あいだの とらえかた 2

フ
ク
シ

ア
ー
ト

× | ×



万能ではありませんが、障害のある方の創作活動が広がることで、一人ひとりの暮らしが様々な側面で豊かになっていく事例が見えてきました。一方で、創作活動を広げていくために、何が必要で何をしたら良いのか、答えのない問いを考えています。方法としてはいろいろあるのだけれども、やっぱり良く分かりません。これまでも様々な提案や企画をしてきました。

〇〇したら良いよ、〇〇のために、こういったノウハウが必要だよね。これで解決することもあれば、そうではないこともあります。提案が一方的であればあるほど、関わる方の熱量に差が出る感じがします（これも善し悪しの判断はできません）。

どんなことにも関心の強弱があるので、提案よりも、もしかしたらひっかかりを多く用意するのでひっかかってくれたらいいなぐらいのスタンスが良いのかもしれません。

2020 3.6^金-7^土

1日目 ぽれぽれ工房山の家

〒920-1346 石川県金沢市三小牛町43-2

2日目 金沢市民芸術村アート工房

〒920-0046 石川県金沢市大和町1-1

定員 1日目:15名 2日目:50名 (ともに先着順)

参加対象 どなたでも【要申込】 参加費 無料



展示会も
同時開催!
3.7^土-8^日
10:00~17:00
場所:金沢市民芸術村
アート工房

お問い合わせ 東海・北陸ブロック障害者芸術文化活動広域支援センター
TEL:025-530-7264 【担当:坂野】

【主催】東海・北陸ブロック障害者芸術文化活動広域支援センター・文化芸術活動支援センターがける

【協力】岐阜県障がい者芸術文化支援センター・tomoniアートサポートセンター / あいちアールブリュット ネットワークセンター / 静岡県障害者文化芸術活動支援センター・みらいと / 富山県障害者芸術活動支援センター・ばーととやま / NPO法人福井・芸術文化フォーラム NPO法人希望の園 (順不同)

3/6 1日目

13:00 金沢駅東口集合・ぼれぼれ工房山の家へ移動

13:30 視察研修

『ポレポレでいこうと思う ～日常にあるひっかかり～』

「ポレポレ」には看板がありません(けて貧乏という訳ではありません)。○○周年記念イベントもした事ありません(議題にもありません)。自分が何年働いているのかも覚えていません(メンバーさんが覚えてくれています)。日常をともにする“人”が居る、ただそれだけ…なんです。人が集まれば壁が出来たり、摩擦がおこったり、色々あります。その1つ1つを受け止め、考え、何かやってみるけどまた悩む。PDCAどころではありません!日常には色々な意味で影響を与えあえる人や物、事などの“関係”がたくさんありそこから生まれる作品はやっぱりオモシロイと思う。そんな理解しがたい?混沌としたポレポレの日常を感じて頂ければと思います。

講師:菊 義典 NPO法人地域支援センターポレポレ

15:00 情報交換会 (～17:00終了)

申込方法

次のいずれかの方法でお申込みください。

- ① メールに所属・氏名・お電話番号・参加希望の日程を明記しお申込みください。
- ② 下記申込書へ必要事項を記載し、FAX(025-530-7261)にてご報告ください。
- ③ Googleフォームにてご連絡ください。 →



申
込
書

所属:

氏名:

電話番号:

メールアドレス:

参加希望日: 6日のみ ・ 7日のみ ・ 両日
(○印をつけてください)

3/7 2日目

10:00 開会

10:20 講演:東海・北陸ブロック事業の実績報告と展望
『何気ないを大切に』

～一人ひとりの暮らしを文化に～

長野県上田市に活動拠点をおくりベルテ。人間は、一人ひとり暮らしの中でいろんな判断をしています。自己決定という何か大きな出来事を想像しがちですが、毎日の生活の場面において何かしらその人なりの選択をしています。その選択を見つめることに焦点を当てたりベルテの活動は、常に考えたり想像することの連続なのではと思います。その連続がアートになったり居場所になったり。

講師:武捨 和貴さん NPO法人リベルテ 理事長

【講師プロフィール】

大学卒業後、地元の喫茶店に飾られていた作品に衝撃を受ける。その作家が通っていた福祉施設「風の工房」を訪問、ボランティアに誘われそのまま就職。2013年に退職し、同年NPO法人リベルテを設立。関係性ってなんだろうというもどかしさや葛藤から、地域や社会とゆるく繋がる接点として居場所づくりや文化事業を行う。

11:00 休憩

11:10 講演『表現未滿』

他者を知る。他者を知ることによって「無視」できなくなる。無視できなくなると、共感や違和感、面倒くささなど関係性が生まれる。そんなやり取りの中から、お互いが認め合ったり多様な価値観が生まれていく。そんなプロセスが重度の知的障害のある方は、決定的に少ない。知っている前提がなければ何を訴えてもリアルに感じてもらえない。

だったら徹底的に社会との接点を作っていこう。表現活動に留まらず(むしろ全てが表現だったり)、どんどん彼らの存在と向き合い発信すればいいじゃないか。そんなプロジェクトを創り続けている久保田さん。今回は、クリエイティブサポートレッツの取り組みから、『表現未滿』に込められたエッセンスをお聞かせします。

講師:久保田 翠さん

認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ理事長

【講師プロフィール】

武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業後、東京芸術大学美術学部大学院環境デザイン科修了。長男の出産を機に、2000年にクリエイティブサポートレッツ設立。2008年に、文化創造の拠点「たけし文化センター事業」をスタート。一人ひとりの生活や生きることそのものを、まちの文化としてとらえ様々なプロジェクトを展開し続けている。平成29年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。

11:50 時間に限りはありますが...
武捨さん・久保田さんをかこんでフリートーク

12:20 お昼休憩

13:10 対談:パフォーマンス

『人間やめて健常者になるぐらいなら、
かぶりものをかぶって動物になる』

新潟県内で数多くのステージに立つYOHKO氏。彼女が創作する独舞には、これまで歩んできた彼女の人生や譲れない思いが見え隠れしています。本音と即興パフォーマンスを披露してもらいます。偽善が嫌いなんですよ。ホントに。

講師:YOHKOさん パフォーマー

13:30 大発表会

『東海・北陸ブロック内の
障害者芸術文化活動普及支援事業の取り組み』

東海・北陸ブロック内では障害のある方の創作活動を広げていくための支援センターが6県で立ち上がっています。とてとても特色のある活動があって地域や実施する団体によって良い意味で色が出てきています。先進事例も含めて一挙にたくさんの取り組みが聞ける時間です。お得です。

講師:東海・北陸ブロック各県支援センター等

14:30 休憩

14:50 ファイナルセッション

『どこに行く?いしかわけん』

石川県に「支援センター」が開設されて1年足らず。福祉関係者向けの勉強会を中心に取組んできました。前身となる有志グループで行っていた勉強会等も含め、たくさんの方に参加して頂きネットワークも徐々に広がりをみせています。今年度の取組みを石川県のナカマたちを中心に会場の皆さんと一緒に振り返りセッションで今年度実践報告会を締めたいと思います。

司会:菊 義典 文化芸術活動支援センターかけるセンター長
登壇者:石川県内の福祉事業所の職員、アーティストなど

15:50 まとめ・閉会